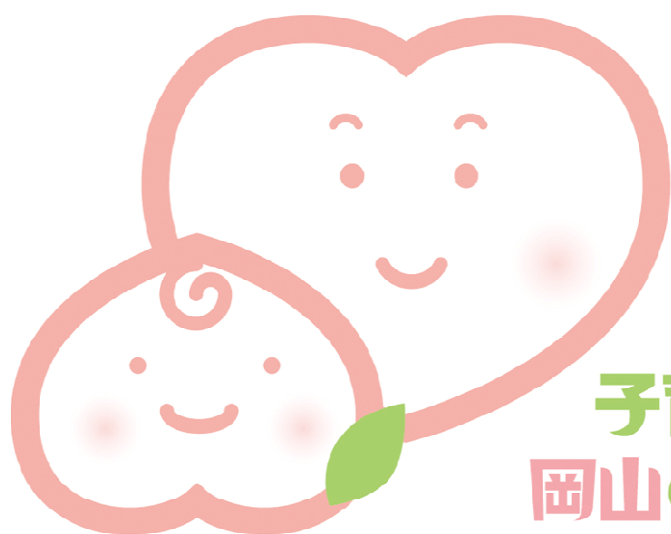


おかやま 子育て応援宣言企業

岡山県知事賞贈呈式



子育て支援は
岡山の未来づくり!

	ページ
1 「おかやま子育て応援宣言企業」表彰 実施要領	1
2 岡山県知事賞を贈呈する企業等の紹介	
○医療法人誠和会 倉敷記念病院	2
○社会福祉法人 倉敷連医会	4
○株式会社ミツバファクトリー	6
○有限会社アップビート・バルーン	8
○株式会社山陽新聞社	10
○三菱化学株式会社 水島事業所	12
○国立大学法人岡山大学	14

平成24年2月21日

岡 山 県

「おかやま子育て応援宣言企業」表彰実施要領

1 趣旨

「おかやま子育て応援宣言企業」として登録した企業・事業所(以下、「企業等」という。)のうち、独自性、先進性のある取組内容を宣言するとともに、その実現に向けて特に積極的に取り組み、他の模範となる優れた成果があった企業等に岡山県知事賞を授与し、その取組を広く紹介することにより、「おかやま子育て応援宣言企業」への県民の関心を高め、社会全体で子育てを支え合う環境づくりの一層の推進に資する。

2 表彰の対象

表彰の対象は、表彰年度の12月15日までに登録した企業等とする。ただし、既に表彰した企業等は除く。

3 表彰の種類

表彰の種類は、岡山県知事賞とする。

4 表彰の基準

表彰の基準は、次のとおりとする。

- (1) 独自性、先進性のある優れた取組内容を宣言していること。
- (2) 宣言内容の実現に向けて積極的な取組を推進し、他の模範となる優れた成果があったこと。
- (3) 過去3年間に関係法令に係る重大な違反がないこと。その他、社会通念上表彰するにふさわしくないと判断される問題を起こしていないこと。

5 選考

別に定める委員により構成する選考委員会において選考し、表彰する。

6 表彰の手続

表彰の手続は、岡山県表彰規程(昭和24年岡山県規則第2号)に定めるところにより行う。

7 表彰

表彰は、表彰状及び金品を授与して行う。

附 則

この要領は、平成20年12月18日から施行する。

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の 名称	医療法人誠和会倉敷記念病院				
代表者 職・氏名	理事長 赤木 和彦				
所在地	倉敷市	事業内容	医療・福祉	従業員数	374 人



※登録番号 19003

2 子育て応援宣言

○ 仕事と育児の両立

- ・育児休業制度利用率100%を目指します。
- ・育児休業明けの職員が職場復帰しやすい環境づくりを目指します。
- ・出産後の再就職活動の支援をします。

○ 休日の増加

- ・1年に1回は3連休をとって家族・子どもと触れ合える環境づくりを目指します。

○ 地域支援

- ・子ども達のチャレンジワーク、ボランティア、職業説明会等を積極的に支援します。
- ・倉敷市の「よい子いっぱい基金」に協力します。

3 取組状況

院内託児所の設置、復帰前のヒアリング等により育休中の職員が職場復帰しやすい環境を整えており、平成23年度は20人が育児休業を取得（100%取得率）している。また、1年に1回は3連休を取る制度や誕生日休暇を設け、家族で過ごす環境づくりを進めている。

○ 育児休業からの復帰支援を実施

院内託児所の設置により復帰後も安心して働ける環境を整えている。また、復帰前に就業時間や就業場所を働きやすくなるようヒアリングを実施し、育児休業からの復帰を支援している。



(写真)
院内託児所の様子

○ 休暇制度の充実

誕生日休暇、創立記念休暇や1年に1回は3連休を取得するよう促進し、家族と触れ合える環境づくりを整えている。

○ 職場見学の受け入れ



(写真) 職場見学の様子

子ども達のチャレンジワーク、ボランティア、職業説明会等を積極的に行っている。平成23年度は、高校生を対象とした職業体験を4回、中学生を対象としたチャレンジワークを8回、小学生を対象とした職場見学を2回行っている。

また、実習の受け入れも行っており、地域の子どもの就労意識等の啓発に貢献している。

○ その他の取組状況

平成20年より、青少年の健全育成を図るための事業である倉敷市の「よい子いっぱい基金」に協力。

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の 名称	社会福祉法人 倉敷連医会				
代表者 職・氏名	理事長 辻 俊彦				
所在地	倉敷市	事業内容	医療・福祉	従業員数	51 人



※登録番号 22017

2 子育て応援宣言

- 育児休業を取得しやすい社内環境を整えるため、社内研修を行います。
- 育児休業中に在宅講習や職場復帰前講習、職場復帰後講習など「職場復帰プログラム」を実施します。

3 取組状況

育児休業中の職員に対し、各職種に合わせた内容の在宅講習、職場復帰プログラムを実施し、育児休業からの復帰を支援している。平成23年度は女性5人が育児休業を取得（出産した女性100%の取得率）している。

○ 社内研修の実施

ショートステイ、デイサービスセンターの職員全員を対象に育児休業制度についての説明会を開催（全5回）している。

（写真）社内研修の様子



○ 育児休業からの復帰支援策を実施

育児休業中や育児休業明けの職員に対して、各職種に合わせた内容の講習、プログラムを行っており、復帰後の職務向上を図っている。

【取組の成果】

- ・介護職（デイサービス）
平成23年6月1日から開始、実施中
- ・介護職（ショートステイ）
平成23年2月1日から7月まで実施済



（写真）職場復帰直後講習の様子

○ その他の取組状況

平成23年度には、保育所の入所が困難な職員について育児休業を当初より4ヶ月延長する措置を講じており、職員の育児の状況に応じて柔軟に対応している。

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の 名称	株式会社ミツバファクトリー				
代表者 職・氏名	代表取締役社長 江見 慎之介				
所在地	岡山市	事業内容	サービス業	従業員数	20 人



※登録番号 22045

2 子育て応援宣言

- 小学校3年生までの子を育てる従業員を対象に、短時間勤務制度を導入します。
- 若年者を対象としたトライアル雇用を実施します。

3 取組状況

小学校3年生までを育てる職員を対象に短時間勤務制度を導入し、仕事と育児の両立を図られるよう配慮している。平成23年度は2人（男性1人、女性1人）が育児休業を取得している。また、若年者への就労支援を積極的に行っている。

○ 短時間勤務制度の導入

平成23年1月より1人の職員が制度を利用している。現在、産休及び育児休業中（平成23年3月～平成24年4月）の職員が職場復帰後この制度を利用予定。

また、男女共に学校・地域行事等の参加が出来る様に配慮し、休暇取得できる環境づくりに努めている。

（写真） 育児休業中の職員の様子



○ 若年者を対象としたトライアル雇用の実施

- 平成23年度は3人を採用（現在も在職中）
- ・平成23年5月6日～ 22才女性 採用
 - ・平成23年10月11日～24才男性 採用
 - ・平成23年10月17日～27才男性 採用

（写真）
トライアル雇用における指導風景



○ その他の取組状況

- ・満3才までの子どもがいる社員に誕生日休暇取得を勧奨。
- ・民放放送局制作の育児休業応援番組で取材を受け、育休の取り組みについて紹介されている。
- ・子育て中のお客様に息抜きをしていただける保育士常駐の託児施設を完備した新しいタイプの店舗を平成23年2月に展開。

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の名称	有限会社アップビート・バルーン				
代表者職・氏名	代表取締役 瀧原 秀美				
所在地	岡山市	事業内容	卸・小売業	従業員数	21 人



※登録番号 22048

2 子育て応援宣言

- 子どもをもつ従業員の学校行事やPTA活動への積極的な参加を奨励します。

- 仕事と生活の調和のために、勤務時間の変更、短縮に取り組みます。

- 大学生や若年求職者を対象としたインターンシップを実施します。

3 取組状況

変形労働制(午前のみ又は午後のみ勤務)及び有給休暇の時間単位取得を実施し、子どもをもつ従業員の学校行事への参加を積極的に促している。有給休暇等の申出は100%受理されており、有給休暇等を取得する従業員に対して協力・理解が社内全体に浸透している。

○ 変形労働制、時間単位の有給休暇の導入

変形労働制及び時間単位の有給休暇制度の導入により、早退や遅出出勤が可能となり、学校行事等への積極的な参加を促進している。

また、周囲スタッフの協力により、より休暇等が取りやすい環境が整えられ、仕事と育児の両立が図られている。

(写真) 協力して業務を行うスタッフ



○ 大学生を対象としたインターンシップの実施

平成23年度は大学生1人をインターンシップにより受け入れ、就労意識の醸成を図っている。

○ その他の主な取組状況

子ども連れでも安心して買い物が出来るできるよう、従業員一人一人が積極的に子どもに話しかけるとともに、子どもが風船で遊べるお試しコーナーなどを用意し、親子で楽しく買い物できる環境を整えている。

(写真) 風船お試しコーナーの風景



贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の名称	株式会社山陽新聞社				
代表者職・氏名	代表取締役社長 越宗 孝昌				
所在地	岡山市	事業内容	その他	従業員数	471 人

※登録番号 22057



2 子育て応援宣言

- 子育てや介護を抱える社員がさらに利用しやすくするために現行制度の改善、新制度の開設を目指し、組合とのワーク・ライフ・バランス（WLB）労使協議会を設立します。
- 半日休制度の適用職場を拡大します。午前または午後どちらか半日休むことにより、学校での父親参観(学級)への参加、家族の通院同行、介護時間の確保などにも利用が見込まれ勤務時間の短縮、長時間労働の軽減にもつながります。
- 大学生を対象としたインターンシップをさらに充実させるために、これまでの実習内容を含め検討、改善します。

3 取組状況

ワークライフバランス協議会を設立し、育児中の職員が利用しやすい休暇制度（母性保護休暇制度等）を新設しており、今年度は長時間労働の軽減について協議している。平成23年度は9人（女性8人、男性1人）が育児休業を取得している。また、男性職員参観日出席や子ども参観日の実施等により、家族との時間を確保できるよう配慮している。

○ ワークライフバランス協議会による制度の改善・創設

同協議会では「子育て・介護」を主テーマに5月までに8回の協議を重ね、「母性保護休暇（14日間）」「介護短時間勤務（1～2時間）」の新設など6項目について実施。

また、社内向け冊子「ワーク・ライフ・バランス」ハンドブックを作成し、全職員に対しての周知を行っている。

○ 半日休制度の拡充

半日休制度の適用職場を拡大し、学校行事等への積極的な参加を促すとともに、勤務時間の短縮、長時間労働の軽減につなげている。

○ より充実したインターンシップの実施



平成23年度は2週間にわたって大学生6人を受け入れ。

座学研修を減らし、各機関・事業所などに出向くスケジュールを多く組み、より実践的な内容の研修を行っている。

（写真）インターンシップの様子

○ その他の取組状況

- ・平成23年度に初めて「子ども参観日」を実施し、子どもの仕事に対する意識を養うとともに、家族間のコミュニケーションを深めている。
- ・平成20年7月に厚生労働省の次世代認定マーク「くるみん」を取得。



（写真）子ども参観日の様子

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の名称	三菱化学株式会社 水島事業所				
代表者職・氏名	事業所長 大久保 和行				
所在地	倉敷市	事業内容	製造業	従業員数	1,189 人



※登録番号 22061

2 子育て応援宣言

- 従業員全員にワーク・ライフ・バランスの実現を推進していきます。
- 男性も含め、育児休業を取得しやすい環境づくりに努めます。
- 子どもたちに化学の楽しさを知ってもらうため、事業所見学・体験教育学習への参加・地域広報紙の発行を実施していきます。

3 取組状況

育児短時間勤務制度を積極的に活用している(平成23年度21人利用)。平成23年度は女性4人が育児休業から復帰し、2人(男性1人、女性1人)が育児休業中である。育児休業中の社員とは月1回情報交換を行い、円滑に職場復帰できるようサポートしている。

○ ワークライフバランスの実現に向けた積極的な取組

育児短時間勤務制度の積極的な利用促進や、長時間勤務者に対する健康管理の強化・事業所内での時間外実績の情報共有等による所定外労働時間の削減を進めている。平成22年度には所定外労働の平準化を達成し、23年度は更にプロジェクトチームによる業務効率化に取り組んでいる。

○ 育児休業中の社員の職場復帰への不安解消

育児休業中の社員に対し、社内情報を月1回送付し、定期的に連絡を取ることで円滑な職場復帰をサポートしている。

(写真) 育児休業中の男性職員の様子



○ 事業所見学・体験教育学習の実施

平成23年度は小学校3校、高校1校、子ども会2団体の見学を受け入れている。

また、「青少年のための科学の祭典2011倉敷大会」に出展し、出展した35ブース中、アンケートで最もおもしろいと思った実験に選ばれており、地域の子ども達の化学に対する興味・関心を持たせることに貢献している。

(写真) 事業所見学の様子



○ その他の取組状況

地域広報紙を年4回発行し、周辺地域に頒布することで、地域に密着した事業所活動のPRに努めている。

贈呈する企業等の紹介

1 企業等の概要

企業等の名称	国立大学法人岡山大学				
代表者職・氏名	学長 森田 潔				
所在地	岡山市	事業内容	教育・学習支援業	従業員数	2,610 人



※登録番号 23010

2 子育て応援宣言

- 妊娠・出産、育児に関する諸制度の周知と利用促進、及び仕事と子育ての両立支援のための広報活動を行います。
- 事業所内に設置されている保育施設、病児・病後児保育施設、長期休暇中の学童保育施設の充実、利用促進に努めます。
- 所定時間外労働削減、年次有給休暇の取得促進のための取組を実施します。

3 取組状況

妊娠・出産・育児に関する諸制度をホームページ等で周知し、利用促進を図り、大学内に設置されている保育施設、病児・病後児保育施設、長期休暇中の学童保育施設等により安心して仕事に取り組める環境を整備している（平成23年度は138人が育児休業を取得）。また、イクメンサポーター登録を行い、男性の育児参加を促進している。

○ 妊娠・出産、育児の関する諸制度の周知、利用促進

ホームページへの掲載やリーフレット等の発行のほか、イベント（育Men's Club、キャリアカフェ）を開催し、諸制度の周知および次世代育成支援文化の醸成を図っている。

○ 事業所内保育施設の充実、利用促進による仕事と育児の両立

ケアの途切れない保育体制を目指し、乳児保育「なかよし園」、病児保育ルーム「ますかつと」、学童保育施設「かいのき」の保育内容の充実・向上を図るとともに、ホームページにて施設の案内を行うなど、職員が安心して仕事を行える環境を整えている。

（写真）学内保育所「なかよし園」の様子



○ 所定時間外労働の削減、年次有給休暇の取得促進

定時退勤の日（毎週水曜日、就業時間前に棟内放送による呼びかけ）の実施や時間外労働削減及び年次有給休暇取得促進のための調査実施により、業務の効率化・ワークライフバランスに配慮した環境・雰囲気づくりを整えている。

○ その他の取組状況

- ・ダイバーシティ推進本部内に次世代育成支援室を設置し、子育てしやすい職場環境づくりを総合的に推進。
- ・男性教職員の育児に関する体験記の紹介、「家族の日」における職業体験の実施など、働きやすい環境づくりに向け多方面から取組を行っている。
- ・厚生労働省の次世代認定マーク「くるみん」を取得。



（写真）「家族の日」の取組（職業体験）